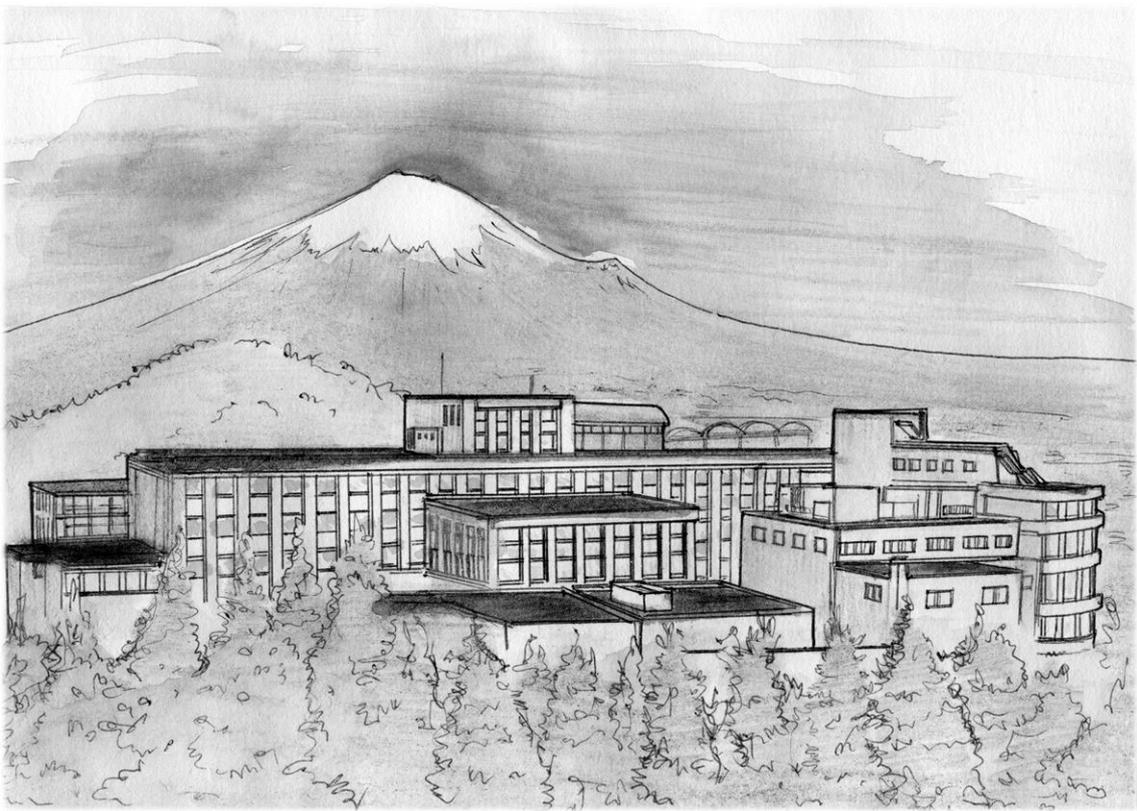


平成 28 年度

共立蒲原総合病院年報



共立蒲原総合病院の理念

1. 地域中核病院として、地域住民のニーズに対応した適正な医療を提供する。
2. 患者中心の全人的医療を提供する。
3. 健全な収支の確立に努める。
4. 職員が働き甲斐・誇りをもてる職場を構築し、医療水準の向上に努める。

共立蒲原総合病院の方針

1. 病院中期経営計画の目標を達成する。
2. チーム医療を促進する。
3. 経営資源を適切に活用する。
4. 倫理観を持って行動する。

第6号の発行にあたって

院長 西ヶ谷 和之

平成28年4月1日には診療報酬が改定され、一般病棟入院基本料などの評価の見直しが行われました。7対1入院基本料の基準の見直しでは、重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の割合が15%から25%に、在宅復帰率の基準が75%から80%に引き上げられました。8月5日に開催された日本専門医機構理事会において、新たな専門医制度の運用の施行開始が1年間延期することが正式に決定されました。地域医療構想調整会議が富士圏域でも3回開かれ、既存病床数と将来の医療需要である必要病床数を考慮しながら、医療供給体制を再構築することや、7疾病5事業と在宅医療の対応が話し合われました。平成28年度も、医療費抑制政策、医師の地域・診療科偏在による医師不足、地域医療の将来に当院がどう貢献できるか、など悩ましい1年でした。

当院においては、平成28年度は第二次共立蒲原総合病院中期経営計画の初年度にあたる年でした。

平成28年3月をもって廃止された富士市訪問看護ステーションの業務を、4月から当院の訪問看護ステーションが引き継ぎ、共立蒲原総合病院訪問看護ステーションサテライト富士として、新たに運営を開始しました。これによって富士市医師会の先生方と連携をさらに深めていく機会にもなりました。

10月1日をもって、病棟再編を行いました。この目的は、診療報酬改定の影響を受けてというよりも、病棟の運営・職場環境を改善することが主でした。東2病棟を60床から46床とすることで、一般病棟が3病棟であったものを、4病棟に再編しました。その副産物として、入院患者平均在院日数は、再編前の4-8月の5ヶ月間の月平均14.8日が、再編後の9-3月の7ヶ月間は月平均12.5日と、2.3日間短縮しました。重症度、医療・看護必要度に関しては、4-8月の5ヶ月間の月平均の28.4%が、再編後の9-3月の7ヶ月間の月平均32.7%となり、4.3%増加しました。

病院事業収益全体としては前年度と比較して1.4%増でしたが、費用全体としては給与費の増などで、実質収支は1億8,800万円余の純損失でした。昨年度より純損失が1,500万円余増加しました。黒字化をめざすためには、1年を通しての安定した運営をすることの必要性を感じました。

平成27年度に新たに制定した共立蒲原総合病院医師修学資金貸与制度条例に基づき、平成28年度は2名採用が計画されていました。5名の応募があり、そのうち2名の医学生（医学科1年生および2年生）に初めて貸与を開始しました。常勤医師は1名増となったことと合わせて、医師確保の効果が今後えられていくものと期待されます。看護師は離職率が低下し4名の増となり、新たに緩和ケア認定看護師が誕生し認定看護師は9分野9名となりました。また、薬剤師は2名の増となりました。

平成29年度の当院の電子カルテ導入に向けて（平成30年1月1日フル稼働予定）、電子カルテの機種選定のために病院見学を含めて準備を年度当初から開始しました。

平成28年8月には健診循環器車の更新、平成29年2月にはMRI装置のversion upを行いました。

地域医療構想、地域包括ケアシステムの構築が進められていく中で、急性期・回復期・慢性期医療、健診事業、在宅医療のそれらすべてに幅広く当院がかかわっていることは事実であり、今後も地域の医療・福祉の将来に貢献できるようにしっかり準備をしていきたいと考えています。

目次

共立蒲原総合病院の理念

共立蒲原総合病院の方針

第6号の発行にあたって（院長）

I 概要・沿革	3 損益計算書	26
1 概要	4 貸借対照表	28
2 沿革		
II 現況	IV 診療統計	
1 組織図	1 入院	
2 職員数	(1) 入院総括	30
3 正規職員平均年齢	(2) 診療科別入院患者数	30
4 建物案内・平面図	(3) 病棟別入院患者の状況	31
(1) 建物案内	(4) 診療科別・年齢別入院患者数	33
(2) 平面図	(5) 地区別・診療科別入院患者数	34
5 施設概要	2 外来	
6 設備概要	(1) 外来総括	35
7 主な医療機器	(2) 診療科別外来患者数	35
(1) 病院	(3) 診療科別・年齢別外来患者数	36
(2) 健康診断センター	(4) 地区別・診療科別外来患者数	37
8 病床数	3 救急医療	
9 診療科目	(1) 診療科別患者数	38
10 診療受付時間	(2) 月別・診療科別患者数	39
11 診療サービス区分	4 手術	
12 施設指定等	(1) 年度別手術件数	40
13 各学会認定（指定）施設	(2) 診療科別・月別手術件数	40
14 病院開設許可等	(3) 診療科別・月別麻酔件数	40
15 施設基準	(4) 診療科別・内容別手術件数	
(1) 基本診療料	① 内科	41
(2) 特掲診療料	② 外科	41
16 病院組合議会	③ 整形外科	42
17 院内会議及び委員会	④ 脳神経外科	42
18 病院情報システム	⑤ 眼科	43
	⑥ 耳鼻いんこう科	43
	⑦ 内視鏡センター	44
	5 人工透析センター	45
	6 死亡件数	
	(1) 診療科別死亡件数	45
	(2) 死亡及び剖検件数	45
	7 薬局	
	(1) 処方箋枚数、錠数、疑義照会件数	46
III 経営		
1 業務概況		
(1) 業務の状況		24
(2) 事業収支について		24
(3) 資本的収支について		24
2 業務実績		25

目 次

(2) 服薬指導	46	(3) 紹介率・逆紹介率	68
(3) 院内製剤	46	(4) 療養病棟受入患者数	69
8 検査科	47	16 医療安全への取り組み	70
9 放射線科		17 感染防止への取り組み	74
(1) 年度別検査件数	48		
(2) 健康診断センターによる検査件数	48	V 看護部	
(3) 病診連携による検査件数	48	看護部総括	78
10 リハビリテーション科		1 各部署の年間目標に対する評価	
(1) リハビリ処方箋件数	49	(1) 看護部	78
(2) 診断名別リハビリ処方患者数	49	(2) 外来	82
(3) 年度別リハビリ件数	50	(3) 東2病棟	83
11 栄養管理科		(4) 東3病棟	84
(1) 栄養指導件数	51	(5) 西3病棟	85
(2) 給食数	52	(6) 本4病棟	86
(3) N S T 報告	52	(7) 新3病棟	87
12 訪問看護ステーション		(8) 人工透析センター	88
(1) 訪問対象者	53	(9) 手術室	89
(2) 年齢別訪問対象者	53	(10) 訪問看護ステーション	90
(3) 診療科別訪問対象者	53	(11) 健康診断センター	91
(4) 訪問看護対象者の状況	53	2 看護部教育研修	
(5) 月別訪問述べ件数	54	(1) 院内研修	92
(6) 訪問対象者の主な疾患	55	(2) 院外研修	95
(7) 訪問看護の内容	55	3 院内看護研究会	98
(8) 対象者が受けている医療内容	55	4 認定看護師の活動報告	
13 健康診断センター		(1) 感染管理認定看護師	99
(1) 年度別受診者数	56	(2) 救急看護認定看護師	101
(2) 項目別悪性所見発見者数	56	(3) がん化学療法認定看護師	102
14 診療録管理室		(4) 皮膚・排泄ケア認定看護師	103
(1) 疾病統計		(5) 透析看護認定看護師	105
① 疾病別・診療科別入院患者数	57	(6) 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	106
② 疾病別・年齢別入院患者数	58	(7) 認知症看護認定看護師	107
③ 診療科別・月別入院患者数	59	(8) 緩和ケア認定看護師	108
④ 診療科別・年齢別入院患者数	59		
⑤ 診療科別・疾病頻度順入院患者数	60	VI 研究	
(2) 手術統計	63	1 医局	
(3) 死亡統計	65	(1) 学会・研修会等出席者数	109
(4) 医療情報の開示	65	(2) 対外活動	109
15 地域医療支援室		2 診療技術部	
(1) 診療科別紹介患者数	66	(1) 学会・研修会等出席者数	111
(2) 医療相談	67	(2) 著書・刊行論文	111

目 次

- (3) 学会及び研究会報告……………111
- (4) 対外活動……………112

3 看護部

- (1) 学会・研修会等出席者数……………114
- (2) 著書・刊行論文……………114
- (3) 学会及び研究会報告……………114
- (4) 対外活動……………114

Ⅶ その他

- 1 年間行事……………115
- 2 平成28年度蒲原病院健康フェスタ……………121